

第1回障がい者支援施設いずみ 地域連携推進会議

日 時

令和7年11月7日 金曜日 13:30~15:00

場 所

障がい者支援施設いずみ 2階 会議室

参加者

堀施設長 新川係長 A様(地域関係者) T様(利用者保護者) K様(女性利用者代表)
丸山生活支援員 山口生活支援員(記録)

議 題

①今年度のいずみの取り組みに関して(事業計画)

新川係長より、いずみの今年度の課題と方向性に関し、パワーポイントの内容に沿って説明があった。

- ※ 女性利用者の待機者数が徐々にではあるが減少傾向にある。女性の方が、家庭やグループホーム等といった地域での居住を選択する傾向ではないか。
- ※ 男性棟、昨年2名逝去され平均年齢が下がっている。
- ※ 女性の平均区分が5.7になった要因として、女性利用者2名が新たに入所されたこと、加齢に伴い身体機能が変化したことが挙げられる。
- ※ いずみの利用者様は、意思表示や意思実現の前段階である意思形成支援を課題としており、外出等を通し様々な体験をして頂いている。

質疑応答

T様：会議の目的について地域の該当者は誰か。

→改めて地域連携推進会議の目的と「施設の透明性」という箇所を強調し説明した。

A様：以前勤務していた時よりも活動などに自由度がある。急な個別外出は、その日に行くこともできるのか？

→事前に、予定について報告する必要があるが利用者様のニーズに合わせて実施している。

A様：女性の利用者数が将来減少していった場合は、施設の運営の方向性は？

→現時点ではないが、居住空間の入れ替えも視野に入れていく可能性もある。男女比を変更することも視野に入れていかなくてはいけない。

② Kさんによる生活の様子を発表

丸山（支）が聞き手となり、Kさんがいずみでの生活について会議参加者へ説明をディスカッション形式で行った。

暮らしに満足をしているとの話と、行事や外出で体験したことを主に話されていた。

質疑応答

A様：食事に関して、全員が揃ってから食事開始か？

→女性棟の皆様に関しては3つほどのグループに分かれ順に席に着いていただいている。各々のタイミングやペースを大切にしている為、ニーズに沿った時間帯で提供している。

③ 行事の取り組みについて

実施されている行事に関して説明を行っている。

質疑応答

A様：資料の1泊旅行について、人員は？

→支援員2名、利用者様は5名の参加。帰省ができない方を中心に企画した。理由としては施設から離れた生活をする機会の確保。または体験の機会として実施。

④ 意思決定支援の取り組みについて

資料を元に説明。地域移行に関しては、女性利用者の方で2名（本人希望1名・保護者希望1名）いることを説明。

その他、昨年度に男性で1名、施設入所からグループホームへ移行していることが報告された。実際にどの程度の希望者がいるのか意向調査を実施予定。

また移行希望者には地域移行支援の指針に沿った支援を実施。

⑤ 終わりに

第2回目は見学会を実施。本日いずみでの生活をお話してくれていたK様の暮らしや活動の場所を見て頂くこととしている。